

## グローバル人材育成

### (1) インドネシア交流(現状報告)

サンタローレンシア校は昨年度より休校、自宅学習体制をとっており、授業履修以外の行事や交流は休止中である。予定していた生徒海外派遣も併せて中止となった。2021年12月現地での状況の改善の報告を受け、2022年1月より生徒同士によるオンラインミーティングを開始した。

### (2) 学校設定科目「科学英語」とグローバル人材の育成の関連付け

#### 学校設定科目「科学英語」

<b>【目標】</b> 様々な災害について科学的な視点でとらえ、災害に関わる身近な事象に対する基本的・多角的な知識を習得させる。そして学習した内容を英語で他者にわかりやすく伝える方法を学び、実際に英語でのプレゼンテーションを行って英語の運用能力を高める。
<b>【対象・単位数】</b> 災害科学科2年・2単位
<b>【教材】</b> GATEWAY TO SCIENCE(NATIONAL GEOGRAPHIC / CENGAGE LEARNING) Science Frontiers(CENGAGE Learning)
<b>【内容】</b> 「ICT 機器を利用したプレゼンテーション活動」「最新科学についての文を英語によるインプットとアウトプット」「課題研究との関連付け」 上記の内容をグループワークで行うことでグローバル人材に必要な幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワーク、リーダーシップ、メディア・リテラシーの育成を図っている。
<b>【課題】</b> コロナ禍において、授業で得た専門的な知識を発表する場が減っている。授業だけではなくオンラインシステムを利用した授業展開や ICT 機器の積極的利用を促し、生徒が得た知識の定着と専門性の深化を目指したい。

上記の課題の通り、科学英語においては授業における発信と海外との交流の関連付けが薄いことが課題であった。これからは、グローバル人材の育成という観点から科学英語で得た知識を課題研究や海外交流と結びつけることで、生徒の視野を広げることができると考えている。今後は授業で得たプレゼンテーション技術の活用や課題研究の研究成果を英語を使用し交流することで課題をクリアし、目標を達成するために活動していきたい。

